

学会ニュースNo.88 トピックス

- ・秋季例会および臨地研究会会告
- ・評議員会・総会報告
- ・研究委員会の設置
- ・2006年度「彩の国環境地図作品展」のご案内
- ・会員の声
- ・会費納入のお願い

会 告

○2006年度秋季例会・臨地研究会のご案内(第2報)

※秋季例会の申し込みは終了しました！新規の参加はできません

集 合 11月10日(金曜日) 午後9時30分
 東京竹芝客船ターミナル
 03-3433-1251(就航案内 8:00~22:00)

参加費 25,000円 集合時に徴収いたします。

往復の乗船券, 11日の食事代, 宿泊費, 貸切バス代が含まれています。

※港から宿, 例会会場から港までのバス代は各自支払い願います。

※11日の夕食時に簡単な宴席を用意いたします。食事代とは別に懇親会費用として
 学生1,000円, 一般2,000円別途徴収いたします。

宿泊先 川徳旅館 TEL:04994-2-0066

<初日>

日	時	行 動 予 定
10日	21:30	東京・竹芝客船ターミナル集合【船中泊】
11日	5:00	三宅島到着(風向きにより港が異なります) ※到着後, 路線バスにて宿舎へ移動(料金は各自支払い) ・三池港接岸の場合(大久保浜下車)330円 ・錆ヶ浜港接岸の場合(大久保浜下車)300円 宿舎到着後, 朝食
	7:30	宿舎出発(貸切バスにて臨地研究会) 島役所跡(10分程度) 復旧した畑(20分程度: 浅沼稻次郎生家付近)
	8:50	椎取神社<埋没鳥居>(20分程度) ひょうたん山, 三七山など過去の噴火地を車窓から見学
	9:30	アカコッコ館到着 <見学・大池まで足を伸ばす>(90分程度)
	11:00	アカコッコ館出発 土石流の流出溝・砂防施設を車窓から見学
	11:15	阿古漁港<伊勢エビ養殖施設など見学>(30分程度)

	12:00	昼食(～13:00)
	13:20	村営牧場(跡)～七島展望台跡<見学>(約1時間)
	15:00	阿古溶岩流<1983年の噴火, 中学校跡>(各15分程度)
	16:10	伊豆避難施設とヘリポート<見学>(30分程度)
	17:00	川徳旅館到着予定
	18:00	夕食と懇親会(※会費別途徴収)

<2日目>

日	時	行 動 予 定
12日	7:30	朝食
		※朝食後, 荷支度をすませ会場へ順次移動(荷物は車で運びます) 秋季例会会場: 三宅勤労福祉会館(宿舎より徒歩30分程度) 車によりピストン輸送を致します.
	9:30	秋季例会開始 講演会3件, 研究発表1件 : 各30分(質問時間込み)
	12:00	終了予定
		※終了後, 路線バスにて港へ移動(風向きにより港が変わります) 最寄りバス停「門の原」 三池港から出港の場合: 13:20発 260円 錆ヶ浜港から出港の場合: 12:40発 330円 (料金は各自支払い)
	14:20	三宅島発
	20:30	東京・竹芝客船ターミナル到着 流れ解散

【注意事項】

1. 往きの船が欠航した場合, 秋季例会・臨地研究会は中止となります。
東海汽船03-3433-1251でご確認下さい。
2. 「条件付き出航」の場合は, 状況に応じて以下のように対応いたします。
 - 1) 朝接岸できず, 午後に接岸できた場合: 臨地研究会を短縮して実施
 - 2) 朝・午後ともに接岸できなかった場合: すべてキャンセル(中止)
 - 3) 朝接岸できたが, 翌日の帰りの就航が難しい場合
: その日の午後便で帰る(講演会中止, 臨地研究会のみ)
 - 4) 上記3)の状況で, 東京行きが早発の場合: 出航時間により対応
 - 5) 状況変化により帰りの便が出なかった場合: 延泊(別途料金必要)
3. 天候により帰れなくなる恐れがあります。あらかじめご了承下さい(船以外の代替手段はありませんのでご注意願います)。
4. キャンセルの場合は, 1週間前までに地理学科へご連絡願います。1週間を過ぎますとキャンセル料をお支払いいただきますので, ご注意下さい。
5. 島内にある金融機関は以下の通りです。
みずほ銀行, 七島信用金庫, 郵便局。

以 上

○研究委員会の設置 —委員募集のご案内—

「海外における地理景観の発掘と地理教材の活用に関する研究(新規)」

1.世話人 :小長谷洋之(代表)、谷口智雅、戸田真夏

2.趣旨 :世界各地域に住む人々は決して同じような空間に、均等にして、同じ状態で分布しているのではなく、異なる自然環境、社会環境のもと生活を営んでいます。そこには、多様な地域環境の所産である特徴的な景観、風土、生活様式、文化などを見ることが出来ます。これらの景観を見るために世界各地を訪れることは、地域性・地域差を理解する上でも非常に大切であると言えます。このため、本研究委員会では、地域性と景観の関わりについて明らかにすることこれら世界の地理写真の発掘をすることを目的として活動を行います。さらに、地理教育の現場においては、単に一般テキストや資料だけではなく、それぞれの地域や地理的事象に関する地理写真や地域の紹介は授業を展開する上で有効な授業資料となることから、これらの地理景観の地理教材の活用方法についての検討も行いたいと思っております。

ご一緒に研究委員会活動を行う委員の募らせて頂きますので、多数の会員諸氏のご参加をお待ちしております。教育関係者に限らず、海外に興味のある方、海外に行かれている方の参加も歓迎いたします。

3.主な活動内容:

- ①大会でのポスター発表・地理写真の展示
- ②地理写真および地理景観発掘を目的とした巡検の実施
- ③地理教材の作成・提供
- ④その他研究委員会に関わる活動

4.研究委員会設置期間 :2006年4月~2008年3月(予定)

5.参加申込 :氏名・所属・連絡先(住所・電話番号・メールアドレス)を明記して、立正地理学会まで葉書もしくはメール(geosoc@ris.ac.jp)にてお申し込み下さい。

6.申込期限 :原則として2006年11月30日

○2006年度立正地理学会評議委員会報告

2006年6月2日(金)18:00より熊谷校舎3号館会議室にて開催。出席者16名、委任状提出者8名、計24名。議事では、まず、2005年度事業報告が鈴木常任委員長よりなされた。次に2005年度決算報告が瀬戸会計委員長よりなされ、いずれの事項も承認された。引き続き、2006年度事業計画案・予算案ならびに会則改定案が提出され、いずれの事項も承認された。
(集会委員会)

○2006年度(第61回)立正地理学会総会報告

2006年6月3日(土)11:20より熊谷校舎8号館8201教室にて開催。出席者58名、委任状提出者156名、計214名。正議長を岩動会員、副議長を小長谷会員に選出し、議事に入った。議事では、まず2005年度事業報告・決算報告・会計監査報告がそれぞれ鈴木常任委員長、瀬戸会計委員長、内山会計監査、松井会計監査からなされた。審議後、いずれの事項も承認された。引き続き、2006年度事業計画案・予算案、立正地理学会役員・各種委員会委員案が提出され、審議後、いずれの事項も承認された。(集会委員会)

○2006年度「彩の国環境地図作品展」のご案内

立正大学地球環境科学部では、2002年度より「彩の国環境地図作品展」を開催しております。「彩の国環境地図作品展」は、身の回りの環境や地域の姿の観察・調査をおこない、地図として表現することにより、環境や地域に対する見方・考え方、地図の持つ可能性に対して、理解を深めることを目的としております。埼玉県内の小学校、中学校、高等学校特殊教育諸学校に在籍する児童生徒を対象として、本年度は2006年9月19日から9月29日まで作品を募集しておりました。

作品の展示会、ならびに入賞作品の発表会・表彰式を下記の日程で開催いたします。ぜひ、お出かけ下さい。

《発表会・表彰式》

2006年12月2日(土) 東京電力(株)TEPCO SONIC(大宮ソニックシティ31F)

《作品展示》

2006年11月 3日(金)～ 5日(日) 立正大学熊谷キャンパス(学園祭期間中)

2006年11月11日(土)～19日(日) 埼玉県環境科学国際センター

(JR鴻巣駅・加須駅よりバス)

2006年11月30日(金)～12月5日(火) 東京電力(株)TEPCO SONIC

(大宮ソニックシティ31F)

入賞作品は、国土地理院「全国児童生徒地図優秀作品展」(2007年1月10日～2月25日)に出展されます。また、入賞作品・優秀作品は「彩の国環境地図作品展ホームページ」での閲覧もおこないます。

「彩の国環境地図作品展」ホームページ

<http://www.ris.ac.jp/ecomap/>

鈴木厚志・原美登里(立正大学)・亀井啓一郎(立正大学・非)

○会員の声 乾燥地域の地形の景観 小松陽介



写真1

海外旅行の醍醐味のひとつに、日本とは異なる景観に身を置くことの楽しみがあります。熱帯地域、寒冷地域、乾燥地域などの景観は、温暖湿潤地域のそれとは大きく違うので、私たちの住んでいる日本の景観や地域特性を改めて見つめ直す機会となるでしょう。私は学生時代から日本の山地地形について興味を持っており、海外の乾燥地域における山地と比較しながら、その形成過程についてあれこれと考えたりしたものでした。

温暖湿潤地域では、山地斜面の大部分は植生や土壤に覆われてしまい、その骨格ともいえる基盤岩の状態を把握するだけでも一苦勞です。それに比べて、乾燥地域ではなんと地形がわかりやすいことでしょうか！空中写真を一目見ただけで、簡単に岩石の種類や地質構造を見分けることができます。温暖湿潤地域である日本では、詳細な地質図を作成するためだけにヤブこぎを何日も行って調査することもしばしばあり、うんざりすることも少なくありません。その悶々とした気持ちが鬱積していき、乾燥～半乾燥地域への憧れが日増しに強くなっていきました。

それからというもの、学会などで海外に出かけるたびに、乾燥～半乾燥地域の景観を観察するようになってきました。アメリカのデスバレーやグランドキャニオン、スペイン、オーストラリア。今年はモンゴルにも出かけました。そのたびに書物だけでは得られない、新たな発



写真2

見や楽しい経験を得ることができました。

平原に点々とそびえるメサやビュートなどの景観は、西部劇などでおなじみです。また、大陸の乾燥地域には、見渡す限りの地平線というのも珍しくありません。大陸の平野は岩石が風化し、風などによって侵食されて平坦面が形成されるのです。また、風化が起こりにくい部分は侵食から取り残され、岩塔や孤立丘を形成します。これらの地形はインゼルベルクと呼ばれます(写真1)。インゼルベルクは平坦面に突き出たものばかりではなく、山麓に緩斜面を持つインゼルベルクもあり(写真2)、この1~7度(最大15度)の傾斜角を持つ緩斜面のことをペディメントといいます。狭義には前者のみをインゼルベルクと定義するのですが、広義には後者のようなペディメントをとまなう孤立丘も含まれます。ペディメントのような緩斜面を見るとつい扇状地をイメージしますが、ペディメントも基本的には侵食地形ですので、簡単には深い穴を掘ることができません。

最近では、乾燥地域への情熱も一段落し、乾燥地域の地形よりも湿潤地域の地形が面白いと感じるようになってきました。乾燥地域の地形はわかりやすいことのほか、地形変化に要する時間が長いことなどが魅力的な点の一つです。一方で湿潤地域の地形は、土壌の生成速度、植生の種類、多種の風化プロセス、人為的影響などが複雑に絡み合っているため手応えのある研究になっているような気がします。行く手を阻むヤブも、体を押し流そうとする洪水流も末永く付き合っていきたいものです。

○会費納入のお願い

2006年度分会費が未納の方は、お早めにご納入下さい。過年度分会費が未納の方は、過年度分もあわせてご納入願います。会費および郵便振替口座の番号・加入者名は下記の通りです。

一般会員 4,000円 学生会員 2,500円
00130-8-13453 立正地理学会

※最近、払込取扱票の払込人住所氏名の欄が未記入のものが多く見受けられます。とくに、住所変更のご連絡がなく、新住所のみご記入され、氏名のご記入のない払込取扱票の対応に苦慮しております。何とぞ、ご入金の際には氏名欄のご確認をお願いいたします。

(庶務会計委員会)

編集後記

会員の声、地理の言葉などのコーナーへの投稿も随時お待ちしております。編集委員会宛てにお願いします。まで熊谷キャンパス周辺も朝夕はすっかりと涼しくなりました。会員の皆様には風邪など引かぬようご自愛ください。

立正地理学会ニュース No.88

2006年10月18日発行 編集者 立正地理学会編集委員会
発行者 立正地理学会 〒360-0194 熊谷市万吉1700 立正大学地理学教室内
電話 048-539-1660 振替 00130-8-13453

